



# 八雲

学校だより6月号

令和8年 5月 29日

目黒区立八雲小学校

## AI時代において

校長 藤井 良江

現在、文部科学省では、人口減少やグローバル化、AIの急速な発展、産業構造の変化などを背景に、2030年以降の学習指導要領改訂に向けた議論を進めています。特に、学習や情報収集に生成AIを活用する小学生の割合が増加している現状を踏まえ、AIを正しく理解し活用する力の育成が重視されています。今後は、総合的な学習の時間などを通して、情報活用能力やAIの仕組み、適切な活用方法について学ぶ機会も増えていく予定です。

一方で、AIの活用が進む時代だからこそ、人間ならではの力の重要性が改めて見直されています。自ら考え判断する力、情熱や意志をもって行動する力、相手を思いやる心、問いを立てる力、創造力、リーダーシップなどは、人との関わりや実体験を通して育まれるものです。

5月、6年生が興津自然宿泊体験教室、5年生がハケ岳自然宿泊体験教室を実施しました。子どもたちは豊かな自然環境の中で、友だちと協力しながら多くのことを学びました。相手の気持ちを感じ取り、自分の役割を果たし、仲間と支え合う姿が様々な場面で見られました。

このような経験は、まさに人との関わりの中でしか得られない貴重な学びです。また、6年生の道德の授業では、「広い視野で社会や世界と関わること」について考えました。その中で、「人だからこそ心の働き」について、自分の考えを深める姿が見られました。自分を見つめ、相手の立場に立って考えることは、自己理解や他者理解につながる大切な学びです。

本校では、学びを充実させるために、担任だけでなく学年の教員が協力して授業を行い、多面的・多角的な視点から児童理解を深めています。

常に児童の気付きや成長の様子を教員同士で共有し、指導の充実につなげています。



3-1 担任が3-4へ



6-2 担任が6-1へ

## 食育の取組

6月は食育月間です。学校では、「学校(園)における食育指針(目黒区教育委員会策定)」に則り、給食を中心に、授業や委員会活動等の様々な時間を活用し、取り組んでいます。

給食では、大型提示装置にその日の給食のねらいが示された「八雲ランチ」を提示し、給食を食べながら食に関する知識を学んでいます。年間約190回の給食で知識を増やし、「食べる」という経験を繰り返していくことで、望ましい食事や生活、食事マナーを身に付けたり、食への関心を高める第一歩となっています。

食育は家庭との連携が重要です。学校と家庭が両輪となって、児童の食育にご協力をお願いします。



## 親しき中にも礼儀あり

生活指導主任

今月は「ふれあい月間」として、いじめ防止に重点的に取り組みます。新しい学年や学級にも少しずつ慣れ、友だちとの関わりが増える時期だからこそ、相手の気持ちを考えた言葉遣いや行動が大切になります。

学校では、児童一人ひとりが安心して過ごせる学級づくりを進めてまいります。ご家庭でも、子どもの様子について気になることがありましたら、すぐに担任へご相談ください。

### 生活目標「病気やけがに気を付けよう」

6月は、気温や湿度が高くなり、疲れが出やすい時期です。早寝・早起き・朝ごはんを意識し、生活リズムを整えることは、集中して学習や運動に取り組むための土台となります。また、ハンカチやティッシュを毎日持参し、手洗い・うがいを丁寧に行うことで、感染症予防にもつながります。

梅雨時期は廊下や階段が滑りやすくなるため、校内では落ち着いて行動するよう指導します。